

大震災・復興ニュース（第92報）

平成25年1月24日
 仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年1月16日～1月22日
- 2 測定分析機関 宮城県，(公財)海洋生物環境研究所，(一財)九州環境管理協会，
 (財)日本冷凍食品検査協会，(独)水産総合研究センター中央水産研究所
- 3 測定及び対応結果

亘理荒浜沖のイシガレイから基準値を超える放射性セシウムが検出されました。このため、県から1月22日付けで仙台湾南部海域の出荷自粛を要請しました。

水産物（漁獲日 平成25年1月5日～1月19日） (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
イカナゴ	亘理沖	1.5	ムシガレイ	気仙沼市唐桑沖	不検出
イシガレイ	亘理荒浜沖	5.1	スズキ	亘理荒浜沖	4.3
イシガレイ	亘理荒浜沖	7.3	ヒラメ	宮城県沖	不検出
イシガレイ	亘理荒浜沖	2.1	ヒラメ	名取関上沖	不検出
ヒラメ	宮城県沖	1.1	ヒラメ	名取関上沖	不検出
ヒラメ	宮城県沖	不検出	ヒラメ	亘理荒浜沖	不検出
ヒラメ	宮城県沖	1.2	ヒラメ	亘理荒浜沖	6.4
ヒラメ	宮城県沖	4.5	ヒラメ	名取関上沖	1.5
ヒラメ	宮城県沖	不検出	ヒラメ	名取関上沖	4.7
ヒラメ	宮城県沖	不検出	ヒラメ	名取関上沖	4.4
ヒラメ	宮城県沖	7.6	ヒラメ	名取関上沖	8.1
ヒラメ	宮城県沖	4.5	マコガレイ	亘理荒浜沖	2.1
ネズミザメ	三陸南部沖	0.58	マダラ	亘理荒浜沖	5.6
ヨシキリザメ	太平洋東沖	0.63	マダラ	名取関上沖	1.6
ババガレイ	気仙沼市唐桑沖	不検出	マダラ	亘理荒浜沖	8.6
マアナゴ	気仙沼市唐桑沖	不検出	イシガレイ	亘理荒浜沖	140

放射性物質値は漁獲日における値を示す。

マダラの出荷制限が解除

昨年5月2日付けで国の指示が出されていた宮城県沖全海域のマダラの出荷制限について、1月17日（木）に解除になりました。

1尾の重量が1kg未満のマダラについては昨年8月30日に出荷制限が解除されておりましたが、これによりすべてのマダラの出荷制限が解除されました。

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

グループ補助金第6次募集の1回目交付決定

1月16日（水）、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の第6次募集について、1回目の交付決定がありました。

管内の水産分としては、「ゆりあげ港朝市協同組合」と、カネヨ山野辺水産株式会社を代表事業者とし、93業者で構成される「塩釜水産加工復興グループ」が対象となりました。

なお、2回目の交付決定は2月中旬の予定です。

浦戸のホヤ採苗器沖出し

県漁協塩釜市浦戸支所のグループが県水産技術総合センターの指導を受けながら昨年11月末より取り組んでいたホヤの人工採苗について、先週から今週にかけて採苗器の沖出しが行われました。

沖出しした採苗器の数量は10,500mで、桂島漁港付近に垂下されました。

この種苗は初夏に成長を確認し出荷される予定です。



沖出し作業の様子(1/21)

七ヶ浜のワカメ水揚げ始まる

1月17日(木)より県漁協七ヶ浜支所のワカメの水揚げ作業が始まりました。

これは、県水産技術総合センターの指導で種苗を人工採苗した後、前面海域で養殖したもので、花洲浜の岸壁で計量作業が行われました。

現在ワカメは1～1.8mに達し、色調も良好で、今週末まで生とボイル塩蔵出荷、その後はボイル塩蔵のみの出荷となる予定です。



収穫されたワカメ

<トピックス>

海外カキ養殖の技術・流通等実情調査報告会

1月23日(水)、ホテルグランドパレス塩釜を会場に、フランスのカキ養殖技術や流通を視察してきた「うらと海の子再生プロジェクト」メンバーによる調査報告会がありました。

フランスのカキ養殖を支える宮城から輸出されたマガキについて、フランス特有の広大な干潟を利用したカキ養殖の特徴、食文化としてのカキ料理など、様々な内容の報告がありました。

浦戸で進められている「あたまっこカキ」ブランド化への応用が期待されます。



報告会の様子

味沁みおでん

12月からJ A農産物直売所たなばたけで、J A仙台オリジナルのおでん「味沁みおでん」が販売され、人気を集めています。

J A仙台管内産の大根やシイタケ、直売所加工の油揚げの他、塩釜の水産加工会社「株式会社高浜」産のちくわ等が入っています。

1パック320円です。機会がありましたらご賞味ください。

